



基本的な合併に対する町の考えは「当面自立」
としています（役場から見た山田の町並）



佐藤忠暉議員

市町村合併

合併しないことの利点は

デメリットを避けられた

選択した町村の中で、合併によるメリットを評価して合併した町村はほとんどない。合併で失職した町村長

の退任あいさつで触れられている。急速な人口減や交付税の削減など厳しさを感ぜながら、合併を選択せざるを得なかったものと思う。合併に伴うひずみがあちこちで表面化している。合併しないことによる利点は、合併で発生したであろう大きなデメリットを避けることができたことだ。

質問

本町の今年度一般会計当初予算規模は、昨年度を大きく下まわり、ピーク（平成十三年度）の約四分の三の六十五億円まで縮小した。

合併市町村で今年度一般会計当初予算規模の伸び率が高いのは宮古市で、前年度比六・五割増、次に大船渡市の六割増とのことだ。

これに対して、単独行政を選んだ自治体は厳しいやりくりで直面し、前年度比で減少率が多いのは住田町の十四・七割減で、次に山田町の九・二割減のようだ。

市町村合併をせず、自立行政をスタートさせた山田町の利点はどんなことが上げられるのか。

沼崎町長 県内で合併を

町の考えを聞く

道路行政

関谷へのアクセス道路は都市計画道路の完成で

質問 特別養護老人ホーム平安荘の移転新築工事が始まって二カ月が経過し、来年の三月末の完成に向かって工事が急ピッチで進行しているようだ。

現在柳沢から関谷、北浜町から関谷、後楽町から関谷の三路線があるが、いずれも、対向車がバスのような大型車が通過すると、すれ違うのに往生しているのが現状だ。

この事は確認申請を許可する段階で分かっていたと

思うが、スムーズな通行を可能とするためアクセス道路をどのように考えているか。

沼崎町長 施設には前面に幅員四メートルの町道関口線が接しており、新たなアクセス道路の必要性はないものと思っている。

なお、町道関口線が狭隘であることから、改善を求める意見は従来からあり、将来的には、都市計画道路北浜関谷線の完成により解決されるものと考えている。